

# 三原市立宮浦中学校第2学年 英語科学習指導案

## 単元名：Lesson7 Presentation 「わかりやすい発表とは」

指導者：三原市立宮浦中学校 松岡 雅子

- 1 日 時 : 平成30年1月25日(木) 第5校時  
 2 場 所 : 2年3組教室  
 3 学年・学級 : 第2学年3組 男子14名 女子17名 計31名  
 4 単元名 : Lesson7 Presentation 「わかりやすい発表とは」

### (1) 単元観

本単元は、学習指導要領の「イ 話すこと」の「(イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること」を受け、設定した。

学習内容として、通信手段やコミュニケーションについての対話文や説明文を扱っている。また、調査結果のプレゼンテーションをする題材を単元の最後に置いている。単元のゴールとして、生徒がクラスで人気のあるものを調べて発表する課題を設定することで聞き手に効果的に伝わる表現力を身につけることができる単元である。

言語材料としては、比較級(-er, more) 最上級(-est, most) 及び同等比較(as~as...)を扱う。これまで形容詞や副詞を学習してきたが、比較級、最上級、同等比較を用いることで、複数のものを比較して情報や思いを表現することが可能となる。

### (2) 生徒観(調査結果からみる課題)

本校2学年の平成29年度「基礎・基本」定着状況調査の教科の学習に関する調査は次の通りであった。

教科学習への意識(肯定的評価)	本校	広島県
英語の勉強は好きです。	73.3%	67.6%
英語の授業はよく分かります。	82.8%	72.1%
英語の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。	65.5%	68.0%
英語の授業では、相手からの質問や依頼を聞くとき、相手が何を求めているのかを注意して聞き、それに答えるようにしています。	82.8%	73.7%
英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。	55.2%	60.7%

調査結果にも表れているように、英語の授業の理解度は高く、英語の勉強が好きだと感じている生徒は70%を越えている。「相手からの質問や依頼を聞くとき、相手が何を求めているのかを注意して聞き、それに答えるようにしています」と肯定的に答えた生徒は82.8%おり、ペアやグループでの言語活動に積極的に取り組む姿も見られるが、「授業で学んだことをふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのかを考えたりしている」生徒は65.5%と県平均を下回っている。また、「自分の考えや気持ち、事実などを英語で話すこと」にも課題がある。

### (3) 指導観(指導改善のポイント)

指導にあたっては、ペアワークの時間を設定し、抵抗感なく英語の発話量が増えるように留意したい。

本単元では、比較級、最上級、同等比較を含む文を導入する。これらの意味合いは比較的わかりやすいだろう。しかし、語形や more, most のつけ方、また better, best などの不規則変化の形容詞や副詞については混同しがちである。したがって、語形を指導する際は視覚に訴えるカード等を使用する。また、more や most と一緒に使われる形容詞はまとめて指導したい。ペア対話では大きさ比べクイズを出し合わせたり、教科や好きなものについて話させるなど、身近で興味をひく対話を扱う。また、対話後には、話した内容を書かせることで表現の定着を図りたい。

「授業で学んだことがどのような場面で使えるのかを考える」ことや「自分の考えや気持ち、事実などを英語で話すこと」に課題が見られるため、日常生活で使える表現であることを意識させ、間違いを恐れずに自分の意見や事実を対話をさせることに留意する。

#### (4) 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校で育成しようとする資質・能力は以下の5点である。

【知識】【スキル】	①課題解決能力	②表現力			
【意欲・態度】	③主体性	④協調性	【価値観・倫理観】	⑤公共心	

この中から、本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわりについて、次の2点に重点を置くものとする。

【知識】【スキル】

##### ②表現力

- ・比較級・最上級を含む文を使って、聞き手に質問できる
- ・比較級・最上級を含む文を使って、聞き手に効果的に伝わるように、プレゼンテーションすることができる。

【意欲・態度】

##### ③主体性

- ・自ら質問をしたり、答えたりしている。

### 5 単元の目標と評価規準

#### 単元の目標

- 聞き手に質問できる。また、効果的に伝わるように、プレゼンテーションすることができる。【外国語表現の能力】
- 通信手段についての説明文を読むことができる。【外国語理解の能力】
- 形容詞・副詞の比較級・最上級を理解して使うことができる。【言語や文化についての知識・理解】

#### 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較級・最上級を含む文を使って、聞き手に質問できる</li> <li>・比較級・最上級を含む文を使って、聞き手に効果的に伝わるように、プレゼンテーションすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信手段についての説明文を読むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形容詞・副詞の比較級・最上級を理解して使うことができる。</li> </ul>

### 6 指導と評価の計画

全14時間 (本時は3/14)

次	学習内容(時数)	評価						
		関	表	理	知	評価規準	評価方法	資質・能力(評価方法)
1	とびら(1) ・この課で学ぶことを知る  課題の設定					・プレゼンテーションについて関心を高める。		

2	GET Part1 (2) ・形容詞の比較級・最上級を理解し使う。 ・世界一小さな手紙について、メイリンと健の対話。	◎	◎	○	・比較級・最上級に関する知識を身につけている。 ・Lesson7で扱う単語・表現についての知識を身につけている。 ・比較級・最上級を含む文を使って、聞き手に質問したり答えたりできる。	後日ペーパーテスト 行動観察	②表現力 ③主体性 (行動観察)
3	GET Part2 (2) ・形容詞の比較級・最上級を理解し使う。 ・メイリンがポールに通信手段についてのアンケートをとっている対話。	◎	◎	○	・比較級・最上級に関する知識を身につけている。 ・Lesson7で扱う単語・表現についての知識を身につけている。 ・比較級・最上級を含む文を使って、聞き手に質問したり答えたりできる。	後日ペーパーテスト 行動観察	
2	GET Part3 (2) ・同等比較を理解し使う。 ・「手紙かメールか」についてのネットの投稿記事。	◎	◎	○	・同等比較に関する知識を身につけている。 ・Lesson7で扱う単語・表現についての知識を身につけている。 ・同等比較を含む文を使って、聞き手に質問したり答えたりできる。	後日ペーパーテスト 行動観察	
4	USE-Read (3) ・プレゼンテーション原稿を読んで理解する。	◎	◎	◎	・比較級、最上級、同等比較を含むプレゼンテーションの原稿を読んで、そこに書かれている事実を読み取れる。	後日ペーパーテスト ノート	
5	USE-Speak (3) ・クラスで人気のあるものを調べて、プレゼンテーションをする。	◎	◎	◎	・比較級、最上級、同等比較を含む文を使って、聞き手に効果的に伝わるように、プレゼンテーションすることができる。	スピーキングテスト 行動観察	②表現力 (行動観察)
6	〈ペーパーテスト〉(1) ・文の構造についての理解を見取る。	◎	◎	◎	・比較級、最上級、同等比較に関する知識を身につけている。 ・Lesson7で扱われた単語・表現についての知識を身につけている。		

## 7 本時の展開

### (1) 本時の目標

ペアでクイズを出し合うことができる。

### (2) 観点別評価規準

#### 【外国語表現の能力】

◎比較級・最上級を含む文を使って、聞き手に質問したり答えたりできる。

評価方法：行動の観察

### (3) 育成したい資質・能力の評価基準

資質・能力	評価基準
② 表現力	A 形容詞の比較級・最上級を用いて、聞き手に分かりやすく質問し、相手からの質問に答えることができる。 B 形容詞の比較級・最上級を用いて、聞き手に質問したり、質問に答えたりできる。 C 形容詞の比較級・最上級を用いた質問ができない。または相手からの質問に答えることができない。
③主体性	A 自ら英語を使って質問したり、答えたりできる。 B 自ら質問したり、答えたりできる。 C 自分から進んで質問したり、答えたりできない。

#### (4) 準備物

ワークシート, ピクチャーカード, フラッシュカード, ホワイトボード

#### (5) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項 (・) (努力を要する生徒への指導の手立て◆)	評価規準 ○教科の事項 ☆資質・能力 (評価方法)
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あいさつ</li> <li>○Warm-Up</li> <li>・ビンゴ</li> <li>○本時の目標の確認</li> </ul> <p style="text-align: center;">課題の設定</p> <p style="text-align: center;">【本時の目標】 ペアでクイズを出し合える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形容詞や比較級を最上級を含んだ単語のビンゴをさせる。</li> </ul>	
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○比較級を使ったクイズの答えを考える。</li> <li>・イラストや写真を示しながら出題する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">個人思考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新出語句の導入・練習</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Word Bank の形容詞・副詞を練習し、与えられた絵に合った英文を作る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Practice 1 : Listen</li> <li>・聞き取り</li> <li>・4つの国の面積の表を見ながら聞き取る</li> </ul> <p style="text-align: center;">個人思考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Practice 2 : Speak</li> </ul> <p style="text-align: center;">ペアワーク</p> <p style="text-align: center;">まとめ・創造・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル会話を練習する。</li> <li>・会話の型を使って、クイズを考えメモする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆フラッシュカードを使って繰り返し発音させる。</li> <li>・順序立てて口頭練習させる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆4つの国名の発音練習をし、大きさを比べる単語を確認してから、聞き取らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆表現力 (行動観察)</li> </ul> <p>聞き手に分かりやすく質問したり、答えたりできる。</p>

	<p>・比較級を使ってペアとクイズを出し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>A: Which is ○○er, A or B?          B: I think A is ○○er than B.          A: You're right.          (Actually, A is the ○○est in[of] ~.)</p> </div> <p><b>グループワーク</b> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 2px 5px;">まとめ・創造・表現</span></p> <p>・グループでクイズを交流し、1つに絞りホワイトボードに書く。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">集団思考</span></p> <p>・全体にクイズを出題したり、答えたりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>評価 [ A ]</p> <p>A: Which is ○○er, A or B?          B: I think A is ○○er than B.          A: You're right.          Actually, A is the ○○est in[of] ~.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>評価[ B ]</p> <p>A: Which is ○○er, A or B?          B: I think A is ○○er than B.          A: You're right.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; background-color: #e0f0ff; padding: 5px; margin: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>【主体的に学んでいる姿】</b></p> <p>・ペアやグループでお互いに意見を交流し、質問を考えたり、表現しようとしている姿。</p> </div>	<p>◆会話を板書し、型を意識させる。          ◆ヒントとなる画像や単語を示す。</p> <p>・全体で代表グループのクイズの答えを考え、発表させる。</p>	<p>○比較級・最上級を含む文を使って、聞き手に質問したり答えたりできる。</p> <p>☆主体性          自ら質問したり、答えたりしている。</p>
<p>まとめ</p>	<p>○Practice 3: Write <span style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 2px 5px;">振り返り</span></p> <p>・クイズの正しい答えを英作文する。</p> <p>○宿題の提示</p>	<p>・本時の文や授業について振り返らせる。</p> <p>◆板書で例を示す。</p> <p>・本時の内容を振り返ることができる宿題を提示する。</p>	

## (6) 板書計画

**Today's Goal**      ペアでクイズを出しあえる。

写真や  
イラスト

写真や  
イラスト

写真や  
イラスト

A: Which is ○○er, A or B?  
 B: I think A is ○○er than B.  
 A: You're right.  
 (Actually, A is the ○○est in[of] ~.)

比較級

最上級